



### 違法薬物から子供達を守る「薬物乱用防止キャンペーン」を開催しました

2011年3月26日(土) 屋外会場：イオンモール岡崎駐車場 講習会会場：イオンホール



3月26日(土)イオンモール岡崎において、薬物から子供達を守るために大人が何をすべきかを考える「薬物乱用防止キャンペーン」を開催しました。

薬物には違法薬物、合法であっても用法を守らないと危険な薬物、乱用をすると危険な薬物があって、いづれも依存性、耐性、フラッシュバックといった悪循環によって、身体的、精神的なダメージから抜け出せなくなるために、絶対に誘惑に近づけないことを大人がしなければいけない。

実践では、子どもとの対話が重要である。子どもが安心して話ができる環境を大人がつくること。大人が見本となることが大切である。ということです。



## 東日本大震災被災地へ勇気と希望を届けよう

ライオンズクラブ国際協会334-A 4R1Z 岡崎竜城ライオンズクラブ

| 目次：          |   |
|--------------|---|
| 薬物乱用防止キャンペーン | 1 |
| 第2回献血キャンペーン  | 2 |
| 例会紹介         | 3 |



- ☆ライオンズクラブ国際協会公式WEB<sup>®</sup> -<sup>①</sup>  
<http://www.lionsclubs.org>
- ☆複合地区ガバナ協議会議長連絡会議WEB<sup>®</sup> -<sup>②</sup>  
<http://japan-8md.sakura.ne.jp>
- ☆ライオン誌日本語版WEB<sup>®</sup> -<sup>③</sup>  
<http://www.thelion-mag.jp>


# 第2回献血キャンペーン

担当:4献アイヘルス・保健委員会 2011年3月19日(土)午前10時から午後4時まで エルエルタウン駐車場



**献血に関するお知らせ**

日頃より日本赤十字社の血液事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。  
また、平成23年3月11日(金)に発生しました東北地方太平洋沖地震に伴い献血へのご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。皆様からのご協力によりまして、現時点におきましては、医療機関からの需要に安定的に血液をお届けできております。  
しかしながら、血液製剤は有効期限があることから、一時期に献血者が集中すると、期限切れが発生し、医療機関への安定供給に支障をきたす恐れがあります。皆様からの善意の献血を無駄にすることなく最大限に被災地の医療に活用するため、一時期に偏ることのない継続的な献血が必要でありますので、何卒ご理解のうえ、今後とも献血へのご支援を賜りますようお願いいたします。

 愛知県赤十字血液センター

被災地に寄せるみんなの心が集まっている証しです。

みんな思いは同じだと実感しました。

救援を待っている人たちに的確な支援ができるよう私たちがもてる叡智と力を結集して行動しましょう。



3月11日に発生した東日本大震災の被災状況の詳細が少しずつ明らかになってきた19日に、2010-2011第2回となる献血キャンペーンを行いました。

献血受付には、いつもとは違う「お知らせ」が貼り出されました。

献血に協力下さる方々は、普段とは違い硬い表情の方が多かったような気がしました。

報道で流される被災地の惨状と自分達の現在の変わりのない生活に戸惑い、何か援助をしたいという思いが、そんな硬い表情となって見えたのだと思います。

被災地に思いを寄せて、何かひとつ行動を起してみると、起す前にあった焦燥感のようなものが少し和らいだように感じたのは、私だけでしょうか。

被災した方々への救援は、毎日のことであり、長期に渡って必要となることです。できるだけ現地で情報を集め、救援を必要とする人たちに必要な物資、サービスが届くよう行動しなくてはならないと思います。私たちライオンズクラブは、世界規模のボランティア組織です。被災地にもライオンズクラブがあります。被災地の情報は8複合地区議長会が主体となった東日本大震災支援対策本部で得ることが可能なはずで、日本赤十字社の医療分野のサポートと共に、現地のクラブへの後方支援を行ってこそ、ライオンズクラブの一員としての責務を全うできると思います。



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

輸血用血液製剤には保管できる期限があります。  
絶えず献血によって供給しなければなりません。  
これからもみなさんのご協力をお願いします。



## 第920回CN記念例会

2011年3月9日(水)18:00PM～ 於：岡崎写真夢楽



今宵は、岡崎竜城ライオンズクラブの誕生記念の日。現在、在籍チャーター・メンバーは4ライオンです。ご出席の三方より40周年にむけてのお言葉を頂戴しました。この記念すべき日に、新会員の入会式も挙行されました。L. 萩原幸二 は令夫人同伴でご出席され、式に臨まれました。結婚祝い品、誕生祝い品の贈呈がありました。おめでとうございます。

## 第921回「薬物乱用防止キャンペーン」例会

2011年3月26日(土)12:00PM～ 於：イオンホール



例会の冒頭、東日本大震災の犠牲者を悼み全員で黙祷を捧げました。例会の途中で、前会長のL.山本より緊急動議の発言がありました。岡崎竜城ライオンズクラブとして、被災地支援の義援金を拠出するとした内容です。動議についてはこの例会では、クラブ単独での拠出をするか否かのみが諮られ、賛成多数で決議されました。ライオンズクラブは世界規模で組織化されたボランティア団体あって、日本の被災地にもクラブがあります。震災直後から被災地近隣のクラブでは、被災地へ赴き支援活動を実施しています。単独のクラブが義援金を他の団体などへ寄付をするのか、国際協会の一員として行動するかの判断が必要だと思います。竜城LCの義援金のあり方も十分に討議して欲しいと思います。例会は、午後の部を控えていることもあり、その後は次第通り終えました。

### 編集後記

東日本大震災発生直後LCIFは緊急理事会を開き、500万USDルの災害援助金の拠出を決めた。その後、各国のLCからの義捐金により拠出の総額が600万USDルに引き上げられた。常に世界の危機に対応しているLCIFの決断はスピードを感じた。被災地は日本にあるにも関わらず、われわれは何をしているのか？ 焦りで落ち着かない日々が続いた、3月19日献血キャンペーンでは市民の人たちの協力がこれまでになく多かった。表情も心なしか硬いものを見た。3月26日薬物乱用キャンペーンは地に足が着いていない感じがした。今すべきことを後回しにしているようで、情け無さする覚えた。PR・IT委員会では、ライオンズクラブが被災地でどんな活動をしているか、WEBページから情報を収集し、それらをまとめて薬物乱用防止キャンペーンのチラシの裏面に印刷したり、ポスターを作って、周知をはかった。ただそれだけしかできなかった。ボランティアは周りに関心がなければ、単なるお節介だと思った。準備を進めたものを中止することは、とても判断がむずかしいと思うが、周囲の関心について注意を払い、配慮する努力が必要ではないか。受け手の心に響かなければ啓発にはならない。今、国際ボランティア組織の一員である我々の一人一人が、その真価を問われているように思う。